

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学校名	管理機関名	設置者の別
金武町立金武小学校	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等
金武町立 金武小学校	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和5年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ ks_syokai/ks-english-01.html	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和5年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ ks_syokai/ks-english-02.html

※8月末までに上記URLにおいて公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間34～50時間を英語教育に充てる。

- ・小学校1学年において、音楽を11時間、図画工作を11時間、体育を12時間削減し、34時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校2学年において、音楽を10時間、図画工作を10時間、体育を15時間削減し、35時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校3～4学年において、総合的な学習の時間を15時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4年生で50時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設(外国資本)・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実

に建設されており、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っている。

(3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

(4) 取組の期間

令和6年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

金武小学校では「くじけず最後までやりぬく子」を大きな柱とし、「すすんで学習し深く考える子」「思いやりがあり仲良くできる子」「じょうぶで明るい子」を教育目標に掲げている。また、国際理解教育の目標として、①他国の文化や言語に興味・関心を持ち、尊重する態度を育てる。②自国の文化や伝統に対して理解を深め、誇りを持つ。③自分と異なる見方や考え方をする人々を正しく理解し、大切にしようとする人権尊重の精神を育てる。④英語によるコミュニケーション能力の素地を養う。を基に低・中学年別に目指す子ども

像を立て、日々の英語活動に取り組んでいる。

児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら、英語活動を行っていることがうかがえる。設問2「どんなことが楽しいか」の回答で、低学年においては、ゲームや歌・ダンスなど ICT 教材を活用して楽しく学習している。中学年においては、ゲームなどを通し、単語だけではなく短い英文で発表ややり取りを高学年に向けて楽しみながら、英語活動を行っている。

特に、町内英語指導員との文化交流やハロウィンなどのイベントを通し、児童は他国の文化や言語に興味・関心を持ち、自分と異なる見方や考え方を理解し、大切にしようとする人権尊重の精神にも視点を当てられるよう計画している。

設問10「英語を勉強することは大切だと思う」の割合は、全学年で高い割合を示しており児童が英語の授業を前向きにとらえていると考える。特に、金武町には米軍基地があり、基地従業員や基地関係者として働く家族も多く、学校以外でも外国人と関わる機会があり、身近に英語を必要と考える児童も多いことがわかる。

【別表2】

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

金武小学校において、英語活動では、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指し、体験的に活動している。

また、各教科に横断的に取り入れるシステム作りも意識しながら、他教科の単元と組み合わせることで実施することにより、児童の意欲につなげようとしている。

例1 算数：図形： triangle, square, circle, line など

例2 図工：描く： color, red, blue, white, など

例3 社会：地図： map, school, turn right, go straight など

クイズ大会などの異年齢交流、総合的な学習の時間では地域の文化理解を通して、他者や異文化の理解などを意識しながら、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養いながら、英語活動に取り組んでいる。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

(1) 成果

- ・児童の9割以上が英語の授業を楽しんでいる。
- ・英語を使うことへの抵抗感が少なくなっている。
- ・保護者からは今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・中学年の文化交流授業として、金武町海外移住者子弟等研修生（ブラジル、アルゼン

チン、ペルー)の移住地についての紹介を町内小学校3校にて実施し、外国の知識を深めることができた。児童も日本や地域の文化等を紹介し良い交流ができた。

(2) 課題

- ・町全体の年間カリキュラムを他教科と関連付けた学年の学びに合わせたトピックや内容の再検討が必要
- ・チームティーチングの充実
- ・内容面の充実
- ・担任やALTによってスモールトークの取組にばらつきがあった。
- ・年度初めのオリエンテーションを通し担任との連携を深める必要がある。

(3) 今後の取組の方向性

- ・同世代の外国人や保護者等のネイティブスピーカーとの交流や町での取り組みの検討・内容充実
- ・スモールトークの充実
- ・担任とALT・JTEとの打合せの時間の確保

6. 資料

- (1) 教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表1】
- (2) 令和5年度教育課程特例校に関するアンケート(1年~4年) 【別表2】
- (3) 令和5年度教育課程特例校に関するアンケート(教師) 【別表3】
- (4) 令和5年度教育課程特例校に関するアンケート(保護者) 【別表4】

【別表 1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

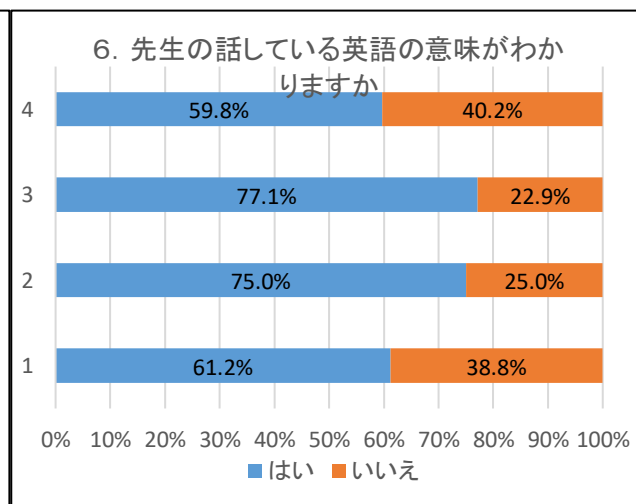
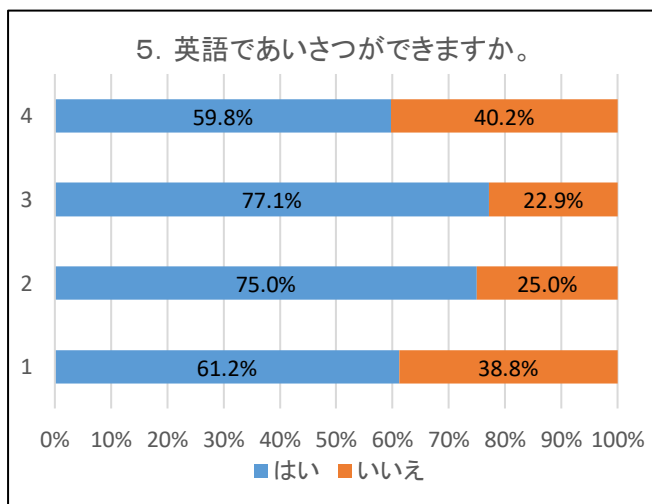
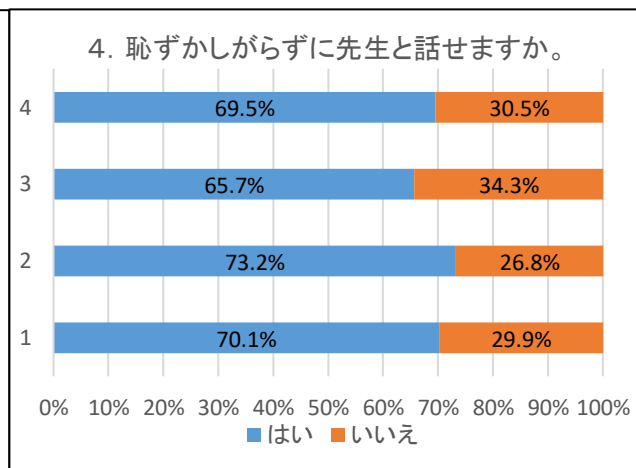
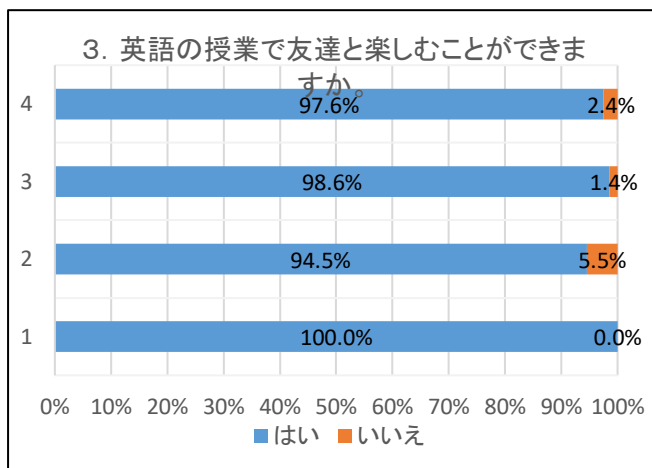
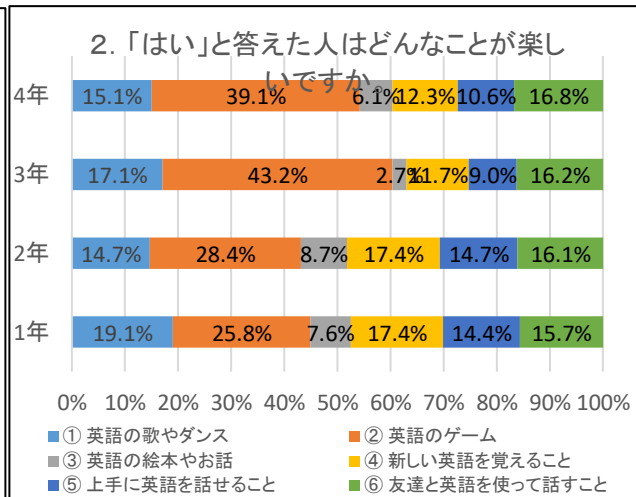
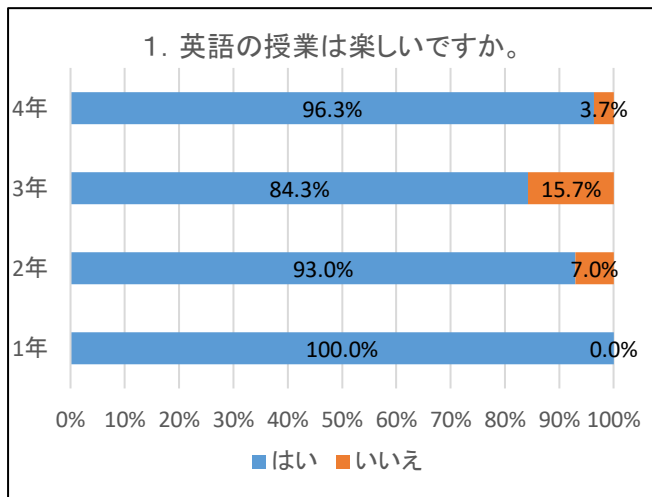
区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業数	外国語活動・外国語科の授業時数	特例校(英語活動)の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第2学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

※ 第3学年～第4学年においては、「総合的な学習の時間」15時間を削除する。

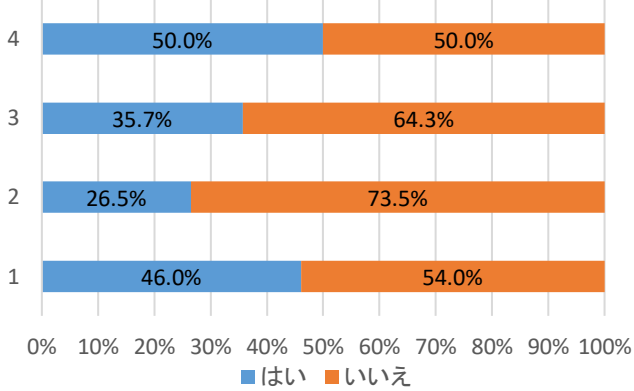
※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を()で記入し、網掛けにて表記。

【別表2】令和5年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）

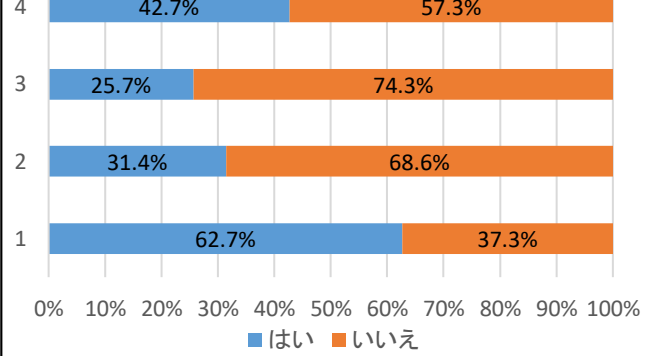
令和5年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）集計表 金武小学校



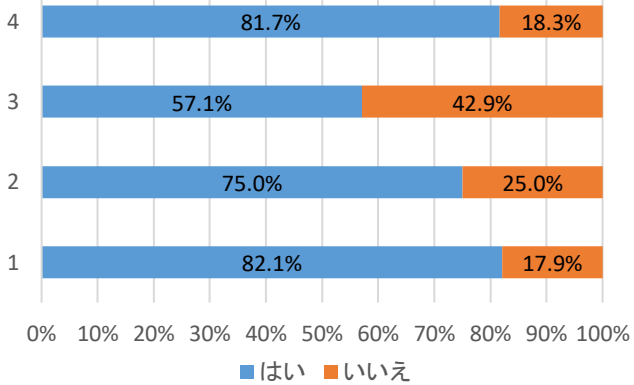
7. 英語の授業で、先生や友達に英語を使って話しかけたりしていますか。



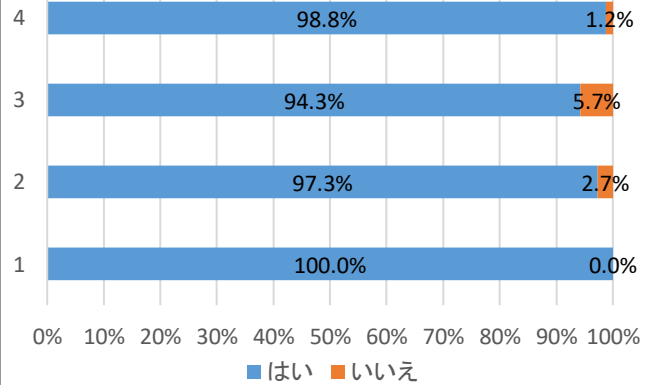
8. 授業以外で、英語の先生に英語であいさつしたり、話しかけたりすることはありますか。



9. 英語を使って外国の人と話してみたいですか。



10. 英語を勉強することは大切だと思いますか。



児童(1～4年)へ行ったアンケートには、下記のような感想がよせられた。(抜粋)

設問10. 英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。

<1・2年生>

- ・もしアメリカじんにあったときアメリカじんがいきなりはなしかけてくるとわからないまんまだとダメなのでえいごがたいせつとおもいます。(8人)
- ・がいこくの人といっぱいおはなししたいです。(4人)
- ・えいごをおぼえたいし、ママやかぞくにえいごをおしえたいから。
- ・えいごをおぼえてせかいをたびしたいから。
- ・外国人とおしごとをするとしたらえいごでかいわをするから。
- ・にほんごをわからない人がこまっていたらたすけてあといっしょにともだちになれるからです。
- ・おとなになって(外国人が)おみせにきたらえいごをつかうかもしれないから。
- ・パソコンで英語とかでてくるから。

<3・4年生>

- ・他の国の人たちとの関わりが深くなると思うから(2人)
- ・英語を覚えたらきっと将来役に立つから(15人)
- ・大人になって、会社に外国人がいたら、外国人の人は、日本語が使えないから、自分が英語で喋ったら、会話ができるから(3人)
- ・もし急に外国に行く時英語を話せなかったらコミュニケーションが取れないと生活ができない。(2人)
- ・英語は世界の公用語だと思うので必要だと思うからです。あと、ホームステイなどをしてみたいからです。
- ・他の国に行っても英語で話せなかったら困るから。(6人)
- ・大人になって仕事で、日本以外に行ったり、旅行で日本以外に行ったり、したときに英語が、使えなかったら困るし、楽しめないから英語を勉強することは大切だと思います。(4人)
- ・英語を学んだら外国の人と話せるし、将来使う時があるからです。(14人)
- ・英語の勉強をすると、受験とかすぐに受かると思うから
- ・金武町は外国人が多いから

設問11. 英語を勉強してうれしかったことは何ですか。

<1・2年生>

- ・えいごをちょっとずつできるようになってきたからいつもうれしかったです。(4人)
- ・3年生といっしょにしたクリスマスパーティーやハロウィンパーティーがたのしくてすきです。(9人)
- ・エデン先生がおしえてくれたべんきょうがわかりやすくてうれしかった。(3人)
- ・いろんなたべものややさい、数、形などが上手にいえてうれしかったです。(3人)
- ・あいり先生とべんきょうをしたことでえいごをしゃべれたこと。(3人)
- ・外国の人とおはなしできてとてもうれしいから。(3人)
- ・ともだちといっしょにゲームでかてたし、えいごのホワイトのはつおんがわかったから。
- ・えいごのべんきょうをしてはじめはあいさつしかいえなかったけど、えいごのべんきょうをたくさんしたからてんきとかよい日がいえるようになったのがうれしかったです。(5人)

<3・4年生>

- ・初めて、英語をしたときに英語で話しかけられたときに、少し困ったけど、そのうちに勉強をして意味がわかって友達

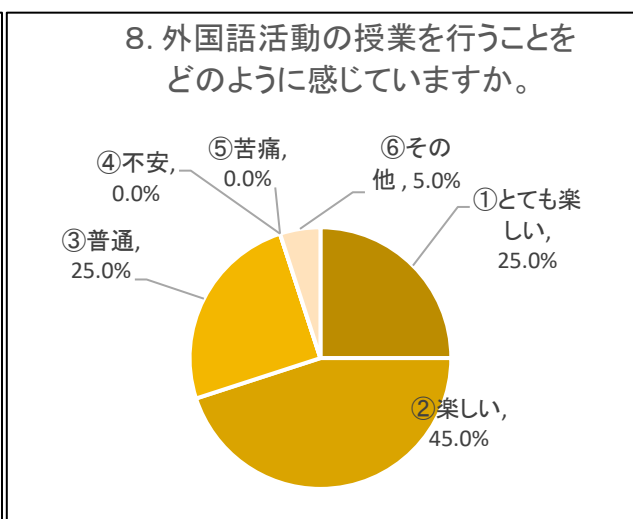
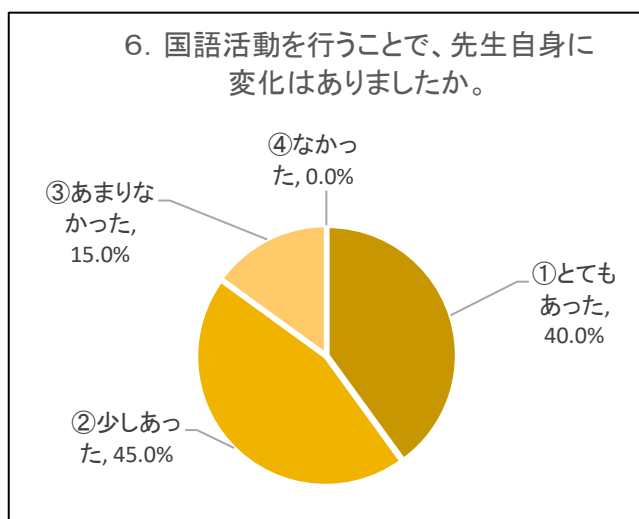
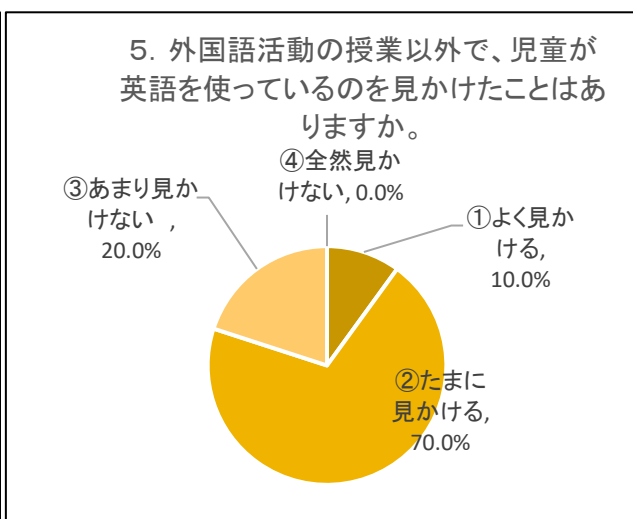
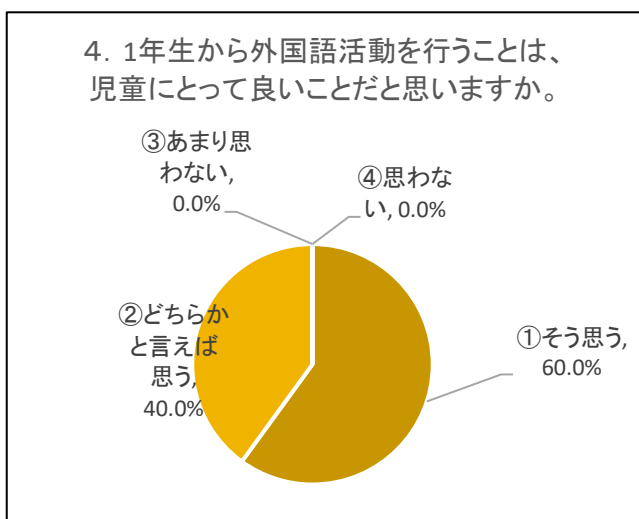
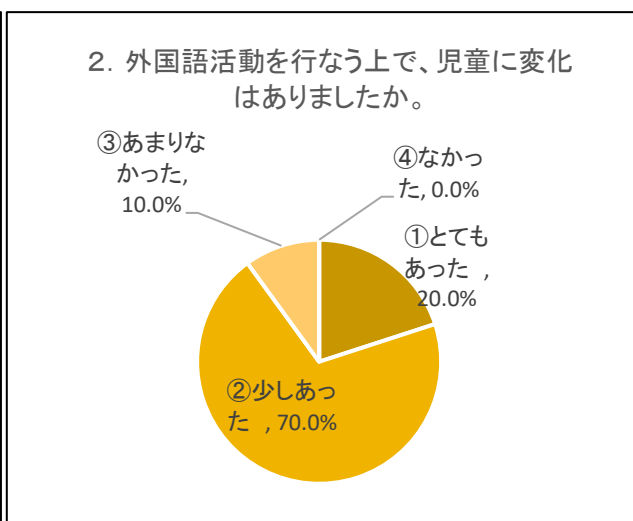
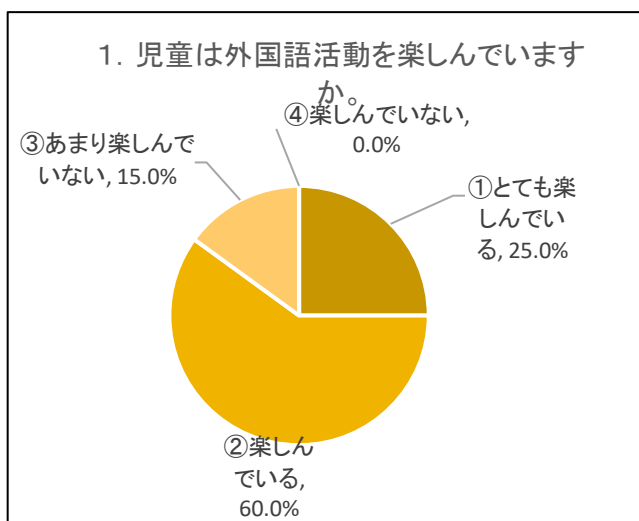
に英語で話せるようになった！

- ・発表ができたこと（2人）
- ・英語であいさつができるようになったこと。（3人）
- ・難しい問題もあったけど、英語の単語などを組み合わせでわかるようになったこと。
- ・えいごで名前をかけるようになったこと
- ・英語を覚えたら、親や・いとこ・弟とえいごではなせたこと。
- ・英語書いたりするからたのしい。
- ・異文化交流会でうまく英語がつうじたので嬉しかったです。（8人）
- ・英語で色々なことにきずけるからです。
- ・みんながおうえんをしてくれるところ。
- ・友達と英語で喋るのが楽しかった。（7人）
- ・おじいちゃんの妹の娘が外国人だから一緒に英語を使って話げできた。
- ・おばあちゃんの、隣に住んでいる外国人の人と少し話せて、うれしかった。
- ・ハロウィンのときはつおんがよくてでっかいシールがもらえたことです
- ・英会話で、いろんなことをはなして単数、複数の言い方や、質問の仕方などを話せるようになったこと、なにかの名前や言い方も分かるようになってきたときなど色々あります。

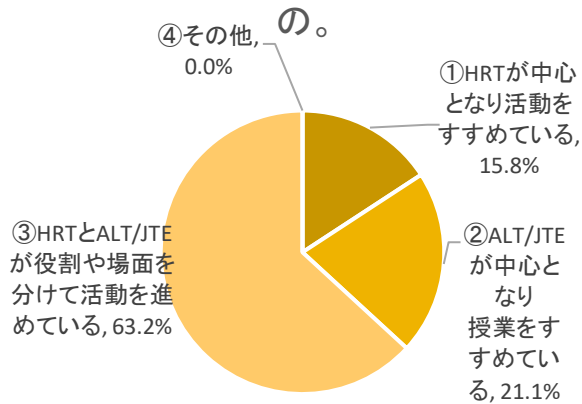
【別表3】令和5年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）

令和5年度 英語活動に関するアンケート（教師用）

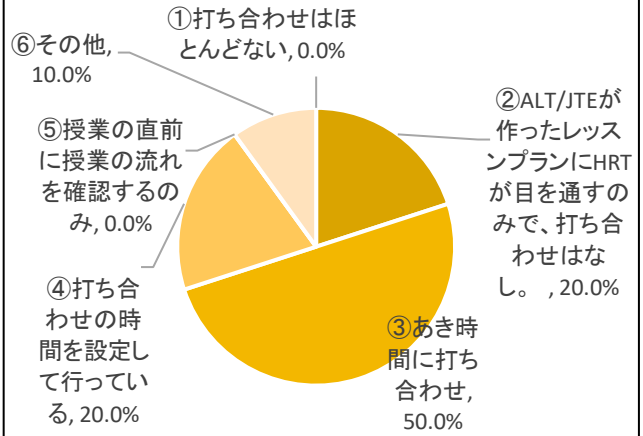
金武小学校



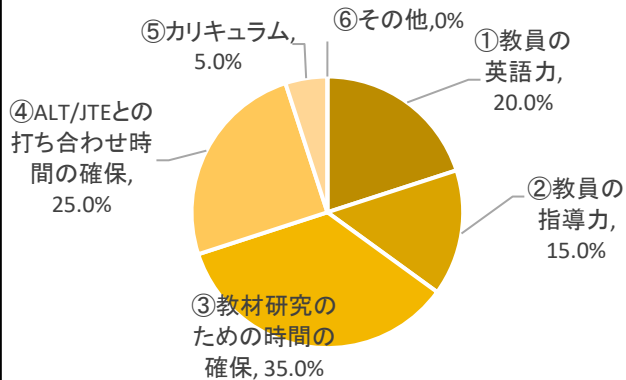
10. TTについて1番ちかいかいもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて。



12. 外国語活動を実施する上で課題だと感じていることは何ですか。



教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

設問 3. 児童に変化が「①とてもあった」「②少しあった」と答えた方、どのような変化があったか。

- ・習った英語を使って、ALT の先生と積極的に会話をする場面が見られた。
- ・日常生活の中で授業で覚えた単語を使用するようになった。
- ・文化交流会の時、皆の前で積極的に発表したり、クラスリーダーになったりしていた。
- ・日常生活で英語の表現が出てくると、意味を話したり、発音をまねたりしている。
- ・日常（英語の授業以外）で知っている単語を英語で言っていたり、簡単な質問や授業で習った疑問文を使うことがよくありました。
- ・他教科とのつながりを感じている。(音楽でトライアングルを使う時に児童から「英語で三角はトライアングルだからだ!」といった発言など。)
- ・英語でのコミュニケーションが増えた。英語への抵抗が減っている。
- ・楽しみながら英語の授業に参加する児童が増えてきた。
- ・英語が自然に読めるようになっていたり、英語を使った発表がとても上手になっていた。
- ・休憩中のおしゃべりの中に簡単な英語の単語が出てきていた。

設問 7. 先生自身に変化は「①とてもあった」「②少しあった」と答えた方、どのような変化があったか。

- ・英語で授業することが楽しくなってきた。
- ・担任がミスしたとしても、ALT が毎回優しく助けてくれるので、安心して授業計画通りに進めることができている。
- ・ALT や JTE と連携して授業を作ることで、はじめは不安でしたが、児童と一緒に楽しみながら授業を進めることができました。クラスの反応として、「Good job!!」を全授業で導入することで、児童も意欲的になりました。
- ・授業を進行する中で、英語を使うことが増えている。
- ・ALT の先生がいらっしゃることで、安心して授業を進めることができるようになっていきました。
- ・英語は好きなので、できるだけ子どもたちとの会話の中にも英語を取り入れるようにしている。
- ・簡単なやりとりを楽しめるようになった。2 学期後半になると子ども達が「楽しかった」と授業後つぶやいてくれるようになった。
- ・英語を少し覚えてきたので英語を勉強したくなった。
- ・いろいろな指導法や教材作りなど参考になった。
- ・英語の授業を楽しんでもらうような工夫がわかった。自分自身も英語を使うように意識するようになった。

設問 9. 外国語活動の授業を行うことを「①とても楽しい」「②楽しい」と答えた方はどんなことが楽しいですか。「③不安」「④苦痛」と答えた方は、どんなことが不安/苦痛ですか。

「①とても楽しい」「②楽しい」

- ・自分自身の英語力が高まること。
- ・日本にはない外国の文化や風習など知る機会があるのがとても新鮮。

- ・児童が新しい単語をリスニングしたあとに、すぐ発音できるときに感動するので、うれしくなります。疲れて少し沈んだ雰囲気のある授業の次に英語の授業があると、どんなときでも子どもたちが元気になるので、私もパワーをもらっています。
- ・英語の音楽を聴いたり、発音をまねたり、普段とは違うコミュニケーションができたりすること。
- ・児童が主体的に行動しようとしていること。
- ・子どもたちとやり取りをしているときや、担任と ALT の英会話を子どもたちが必死に聞いて考えているところ。子どもたちが活動を楽しんでいる姿を見れること。
- ・子どもたちが質問に対して反応している姿が見られる。他の教科より楽しんでいる姿が見られる。
- ・児童と一緒に歌を歌ったりゲームをしたりして、学べる授業がなかなかないので、一緒に楽しませてもらっています。
- ・ALT と会話しながら進めること、ゲーム、担任自身も英語を話すこと。

「③不安」「④苦痛」

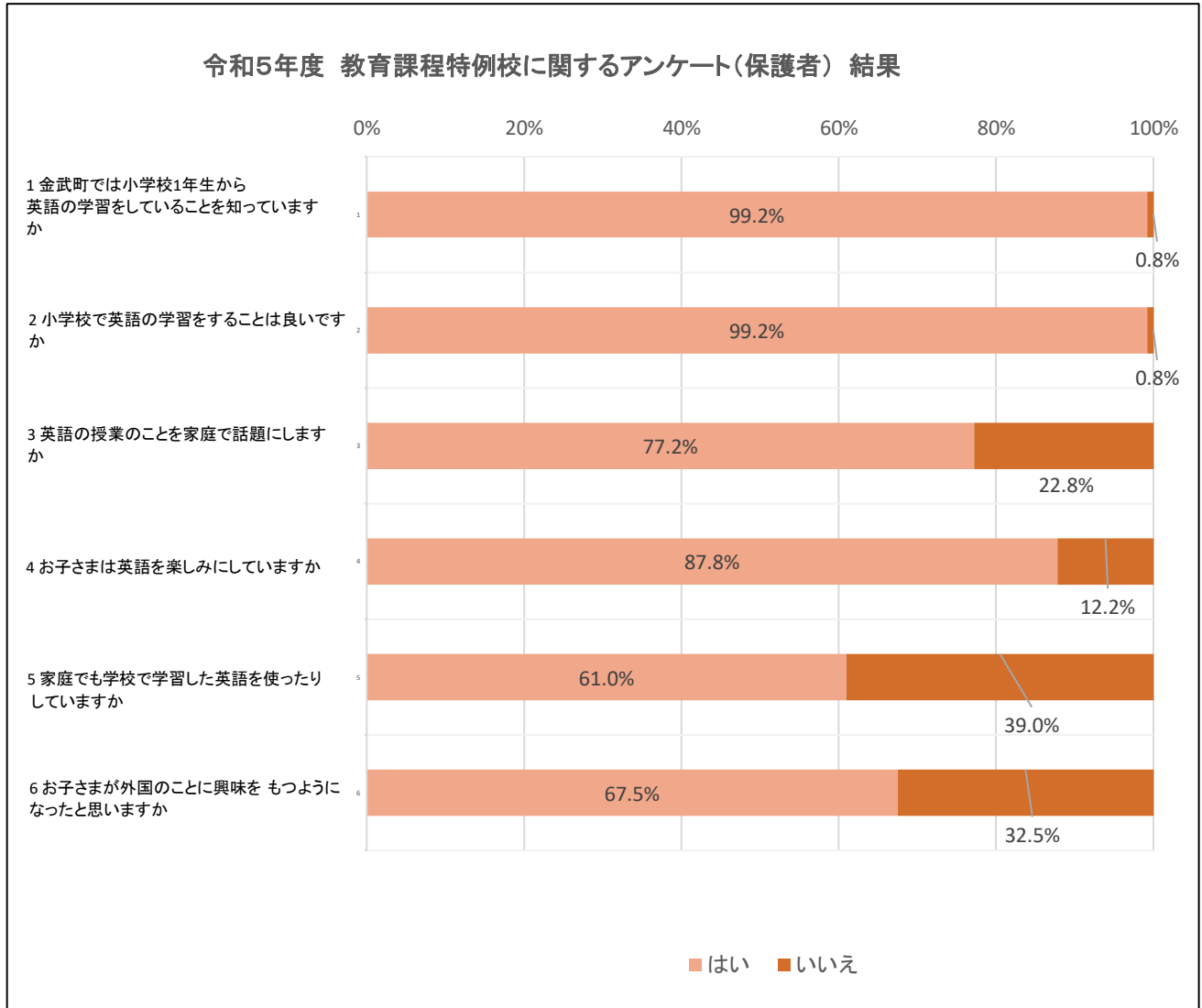
- ・自分一人で授業を作るとなったときに、何をどう進めていけばよいのか。授業の流れのイメージがつかなさそう。
- ・英語がなかなかしゃべれない。
- ・不安と答えていませんが、45 分の活動を計画することが不安かな？

設問 13. その他（1 年間やってみての感想や、意見など）

- ・JTE の先生が、いつも楽しい授業プランを立ててくれるので、とても助かっています。打ち合わせをする時間がないため、事前にプランを学年に共有してくれることもとても助かっています。そのお陰で、担任は負担なく授業ができています。本当に感謝です。
- ・金武小学校に赴任して、外国語の授業の進め方が変わった。とても良い経験になった。
- ・ALT の先生がすごく尽力してくださっているので、毎時間スムーズに授業を進めることができ助かっています。
- ・1 年生には少し難しいトピック（反対言葉など）もあるため、もう少しほかのトピックに時間をかけてしっかり理解できるようにしてもいいかなと思いました。エデン先生の授業準備が丁寧で、児童たちはいつも楽しんで授業に参加しています！ありがとうございます！
- ・高学年は特にであるが、児童の実態に合わせた授業展開等が必要だと感じる。高学年の内容は難しく、英語嫌いの児童が増えないような工夫が必要である。
- ・今後も英語特区で続けてほしい
- ・JTE（あいり先生）に支えられての 1 年間でした。あいり先生のおかげで教材研究が深まったし、私自身すごく勉強になりました。また、子どもたちにとっても素晴らしい時間を過ごすことができましたと思います。本当に感謝です。
- ・ALT の計画が楽しいので勉強になるし、助かっている。

【別表 4】 令和 5 年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者） 金武小学校

令和 5 年度 英語活動に関するアンケート（保護者用） 集計表 金武小学校



保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

- ・ 英語特例校続けてください
- ・ とても恵まれた環境だと思います。家庭でもそれを活かしていきたいです。
- ・ 英語の授業で発音を褒められたと嬉しそうに話してくれます。たくさんの子供達がいる中、楽しんで授業を受けられる環境を作って頂きありがとうございます m(_ _)m
- ・ 日本は先進国の島国なので日本語だけで生活が成り立ち、英語を苦勞して学ぶメリットは少ないと考えている方々が多いと思います。時間を掛けてでも英語を身に付けた場合のメリットや必要性を説明したあとから、英語教育を行った方が生徒たちのモチベーションを保たせるためにも良いと思います。また、映画やアニメを使っているフレーズなどを学ばせることも、英語に興味を持たせる方策と思います。
- ・ 英検 jr だけではなく、英検も受けられるようにしてほしい
- ・ 家庭でもサポートしたいので、どういうレベルの内容か知りたいです。
- ・ 小学 1 年生から英語の授業が受けられるのは、とても良い事だと思います。学校で習ってきた単語や英文を、お家では、親や兄弟にクイズにして聞いてみたり、こんなの習ってるんだよ〜と、嬉しそうに話してくれます。外国の行事だったり一緒に学ぶこともでき、担任の先生と英語専門の先生が 2 人もついてくれる授業は、本当に感謝です。また、低学年から英語の授業を受ける事で、柔軟に発音や単語を覚えられる事にも繋がっている様に思います。授業参観でも、英語の授業はとても楽しそうでした。これからも続けてほしいです。
- ・ 英語の時間を楽しみにしているようです。
- ・ 近くに米軍基地がある環境なので、他国の子供達とスポーツでなんでも交流する機会があれば、両国の子供達の視野も行動も広がると思います！ぜひそのような機会を！
- ・ 英語を身近に感じ、苦手意識をなくすためには、素晴らしい取り組みだと思います。
- ・ 英語の授業をととても楽しみにしているので、ぜひ今後入学してくる子たちも 1 年生から英語に触れさせてほしいです。
- ・ 英語の授業で歌った歌や、英語のフレーズをリズムにのって覚えているようです。とても楽しいと話してくれて英語でもらったシール等もよく見せてくれます。
- ・ 英検 Jr などもあり目標を持ち取り組んでいる。ありがとうございます。